

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年7月29日

（報告先）
横浜市長

住所 横浜市神奈川区東神奈川2-47-7

氏名 日産プリンス神奈川販売株式会社
代表取締役社長 山田 裕

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	日産プリンス神奈川販売株式会社 代表取締役社長 山田 裕				
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市神奈川区東神奈川2-47-7				
主たる事業の業種	大分類	I 卸売・小売業			
	中分類	59 機械器具小売業			
該当する 事業者の要件	<input type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量		kl	自動車の台数	645 台

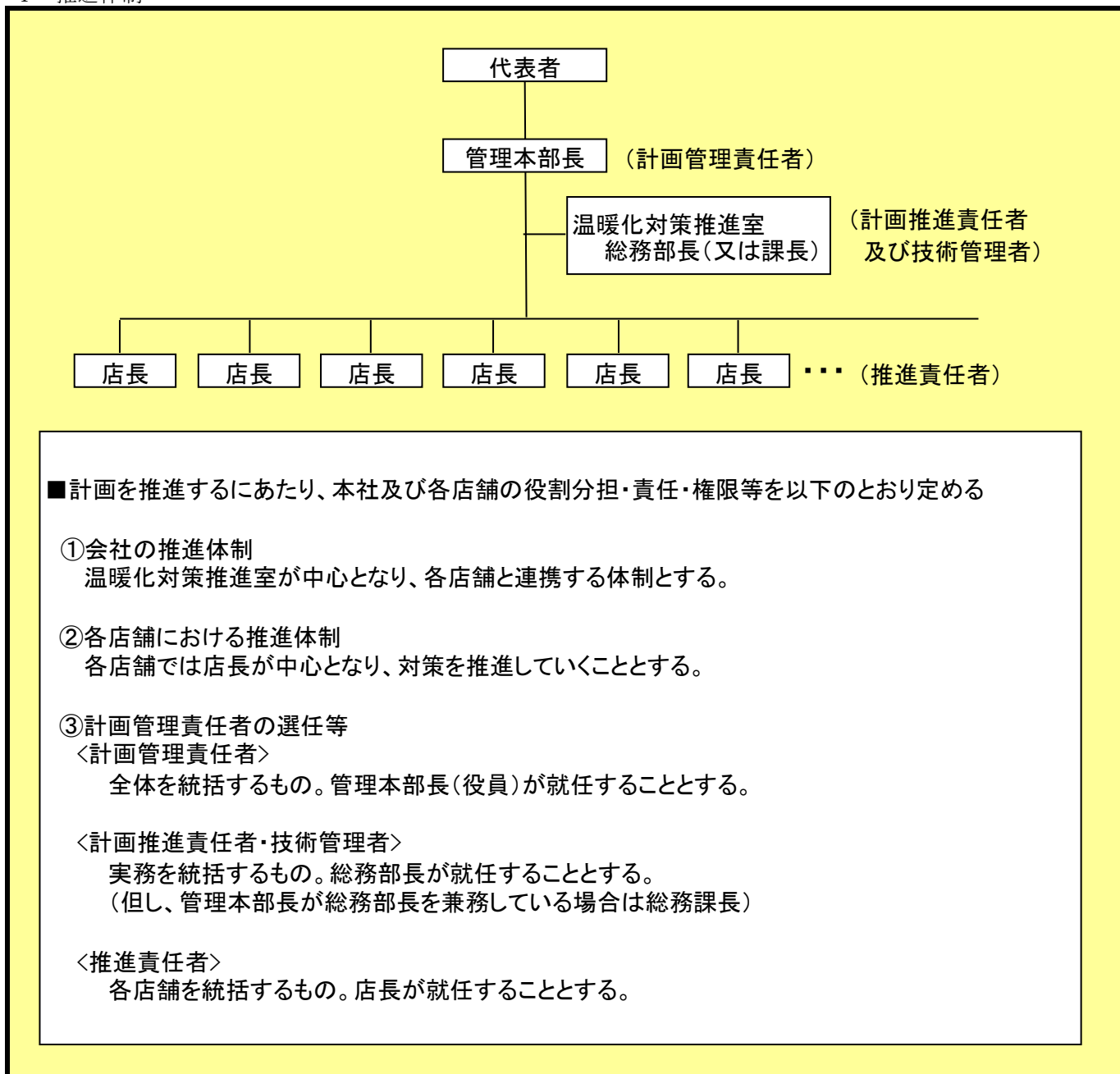
2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

[基本方針] 保有車両の低燃費化による排出量削減
[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討] ①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備
②上記①の設備を選択した理由
③設備更新スケジュール

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	日産プリンス神奈川販売 本社
	所在地	横浜市神奈川区東神奈川2-47-7
	閲覧可能時間	9:30~17:30 (火曜定休)
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%	削減率		%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	249	t-CO ₂				基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後	249	t-CO ₂				目標原単位		t-CO ₂ /
目標年度 (2018年度)	目標排出量	245	t-CO ₂	削減率	1.6 %	目標原単位	削減率	%	
排出の抑制に係る 目標の設定の考え方	●保有車両の低燃費化による排出量削減								
事業者全体としての 目標等									
第一年度 (2016年度)	排出量	220	t-CO ₂	削減率	11.6 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	220	t-CO ₂	削減率	11.6 %		削減率	%	
目標等の達成状況 及び説明	●低燃費車の扱いが増え、代替を促進した為、排出量が減った。								
第二年度 (2017年度)	排出量	249	t-CO ₂	削減率	0.0 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	249	t-CO ₂	削減率	0.0 %		削減率	%	
目標等の達成状況 及び説明	●燃費のよいハイブリット車を増やしたが、電気自動車を削減したため排出量が増えてしまった。								
第三年度 (2018年度)	排出量	248	t-CO ₂	削減率	0.4 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	248	t-CO ₂	削減率	0.4 %		削減率	%	
目標等の達成状況 及び説明	●前年度よりも数値は下がったが、ワンデーモニター等の試乗が増えたため目標には及ばなかった。								
計画期間全体の排出 状況に関する説明	●ハイブリット車や電気自動車の台数を増やし、CO2削減を図ったが、試乗が増えたため大幅な改善ができなかった。								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満								
合計								

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車	30	14	6	16	6	14	6	21
小型貨物自動車	33	8	41	10	35	15	70	12
大型バス	0	0	0	0	0	0		
マイクロバス	0	0	0	0	0	0		
乗用自動車	630	95	626	56	631	74	569	90
合計	693	117	673	82	672	103	645	123
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)	150.8	%	163.1	%	170.7	%	156.9	%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度								
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第1号及び第2号該当事業者	1 推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	2 主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	3 機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	4 照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	5 エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	6 各種図面の整備	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	7 外気導入量の適正管理	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	8 フィルター等の清掃	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	9 ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	10 変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	11 室内温度の適正管理	事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	12 地下駐車場の換気管理	事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	13 照明設備の高効率化	事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	14 事務所機器の待機電力管理	事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	15 機器性能管理	設備			(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度		
	16 冷凍機の冷水出口温度管理	設備			(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度		
	17 燃焼設備の空気比管理	設備			(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度		
	18 排出ガス温度の管理	設備			(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度		
	19 蒸気配管のバルブ等の保温	設備			(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度		
	20 工業炉表面の断熱強化	設備			(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度		
	21 コンプレッサの吐出圧の適正化	設備			(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度		
	22 コンプレッサの吸気管理	設備			(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度				(設備の種類) /	年度		

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度								
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第3号該当事業者	23 推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	34/34	—	年度		実施済	34/34	—	年度		実施済	34/34	—	年度		実施済	34/34	—	年度	
	24 自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	—	648/1392	2017年度	カーナビ・ETCの全車装着ができていない	実施中	—	977/1397	2018年度		実施中	—	964/1317	2019年度		実施中	—	964/1317	2019年度	カーナビなしの車両に対しアドバイス等ができていない。
	25 エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施済	—	1392/1392	年度		実施済	—	1397/1397	年度		実施済	—	1317/1317	年度		実施済	—	1317/1317	年度	
	26 エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	20/34	—	2017年度	エコドライブの講習が出来ていない	実施中	22/34	—	2018年度		実施済	34/34	—	年度		実施済	34/34	—	年度	エコドライブ勉強会の実施済。
	27 自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	12/34	—	2017年度	点検及び整備マニュアル未完成	実施中	16/34	—	2018年度		実施済	34/34	—	年度		実施済	34/34	—	年度	日常点検要領書の作成と店長会議で展開しました。

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

(注意事項) ・対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		%													
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
													千円		
													千円		
													千円		
													千円		
													千円		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1		年度			
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	「ニッサン・グリーンプログラム」活動の推進でCO2排出量を2010年実績から、毎年1%減らしていく。
計画期間内に実施する対策	<ul style="list-style-type: none"> 「ニッサン・グリーンプログラム」活動の中の、グリーンショップ活動を通して、廃棄物の分別やリサイクル活動、省エネ活動を行い環境への配慮を行う。 グリーンショップ活動を維持・向上するため半年後との内部審査、1年後毎の定期審査、
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の分別をキッチンと行うことで廃棄量の削減 「ニッサン・グリーンプログラム」活動の削減目標については達成できている。（目標30.60/1㎡に対して28.70/1㎡の実績）
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の分別をキッチンと行い廃棄されるごみを減らしてリサイクルに繋げていく。 「ニッサン・グリーンプログラム」活動の削減目標については達成できている。（目標30.30/1㎡に対して28.70/1㎡の実績） 0/1㎡=床面積1㎡あたりのエネルギー使用量（原油換算値）
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の分別をキッチンと行い廃棄されるごみを減らしてリサイクルに繋げていく。 「ニッサン・グリーンプログラム」活動の削減目標については達成できている。（目標29.90/1㎡に対して28.60/1㎡の実績）

14 実施状況等に対する自己評価

- 新型車の関係で電気自動車の台数が減ってハイブリット車が増えたためCO2の排出量を削減することができなかったが、会社全体としてCO2排出量を下げるとして、照明のLED化を進めている。
- ・今年度は16店舗（予定より10店舗増）の整備工場や事務所のLED化を実施した。
- ・次年度は16店舗の工場・事務所をLED化の予定しています。